

村上栄二が思うこと

村上栄二も大阪市議会で当選し継続して市議をしていれば…。当時の同期は知事や大阪市議会議長までなっている。しかし、平松市長時代には「できない理由」を並べる政治、橋下市長時代には「どうやってやるか」と「できる理由」の政治。「変えていく政治」を目の当たりにした。

結果、自己責任で政治の世界で挑みたいと思い、2015年5月17日に大阪維新の会を離党し、私も保証された身分から、身を切る改革を福山市でスタートした。



沢山の事業予算を持ち帰るのも市長にとっては必要な力だが、事業を増やした分、福山市役所の仕事がかかり増えている事をよく耳にする。特に課長以上は残業代金が出ない中で市役所は夜遅くまで電気が付いているのが気になる。

忙しく働くのが良しとする根性論ではなくAI・IoT活用により業務効率を徹底的に上げて、一部公務員に負担がしわ寄せになっている環境を変えていく。公務員の業務効率が市民サービスに繋がるスキームが必要(要は現場の職員が活躍できる環境を構築する)。



村上栄二の結論

中核市は働く場所がある街であり、全国62市のほとんどに大企業があり下請けに繋がる街。結果、立場の違う経営陣と労働組合、考え方の違う自民と民主系が揃って応援する市長が誕生する。

そして全包围網の政策から市民にとって実感が湧きにくい政治が脈々と続く。福山市に一番必要な改革は市民のための市長を誕生させる事だと断言する。



大阪維新の会は市民・改革意識の支持により大きく変化した。村上栄二が完全無所属で福山市の未来だけを考えて政治こそが真の地方分権に繋がると信じて今日もバイタリティ全開で進めていく。



意見広告

村上栄二の
ここだけの話
連載

なぜ「松井一郎氏」を呼んだのか？

松井一郎氏は、2009年4月に「自由民主党維新の会」を6人で結成し、2010年4月に「大阪維新の会」を結成。「改革」と、言葉で話す人はいるが、実際に自民党から会派を作るものの、それでも変わらない。そして「地域政党」を6人で立ち上げた。自民党から出る、という大きな決断、身を切る改革を体現した人です。
大阪府庁、大阪府役所で大改革が成功したのは、政治家の力だけではなく、職員が改革のために動ける環境を作り上げたことです。



賃貸マンション、月極駐車場
「空き」あります!

Consort homes

お問合せ

有限会社 DC 開発研究所
☎ 084-999-3166

〒720-0052 広島県福山市東町 2-3-2